

各 位

TOTOKU

東京特殊電線株式会社

東京都港区西新橋三丁目 8 番 3 号

(東証1部コード番号 5807)

問合せ先 総務・広報担当

TEL 0268 (34) 5211

大容量データ伝送に最適な極細径USB3.1 Type C ケーブルを開発

東京特殊電線株式会社(本社:東京都港区、社長:立川直臣)は、USB3.1 Type C ケーブルの規格に適合したデータ伝送ケーブルを開発しました。

データ伝送における高速化並びに大容量化への対応に伴い、USB3.1規格の急速な拡大が見込まれますが、当社のUSB3.1 Type C ケーブルは、当社独自の高速伝送に適した極細同軸ケーブル技術を活かし、細径でありながらデータ転送速度、全周波数帯域における減衰量、伝播時間差においてUSB3.1 Type C ケーブルの規格を満たしています。

当規格を満たしたことにより使用長が短く制限されないため、短尺はもとより、ディスプレイ、4Kテレビ等のデータ伝送用途として1.8m、2.0mの長尺使用も可能です。

【USB3.1 Type C ケーブルの主な特長】

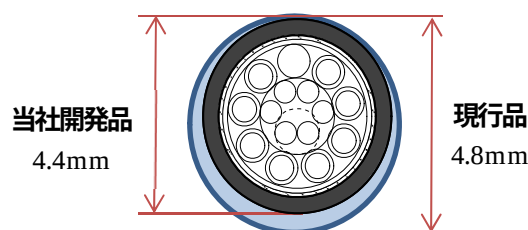
1. 他社現行品より断面積比で約15%の細径化を実現

当社が独自に開発した中空構造による同軸ケーブル「RUOTA (ルオータ)」を採用することにより、ケーブルの外径は4.4mmで、他社現行品の外径4.8mmと比較して断面積で約15%の細径化を実現しました。

ケーブルの絶縁体は、一般的にポリエチレンを使用し発泡させて空気を含有させていますが、当社の「RUOTA」は中空構造とし電気特性を高めることにより細径化が可能になり、また絶縁体にフッ素樹脂を使用しているため耐熱性、耐薬品性にも優れています。



当社開発品「USB3.1 Type C ケーブル」

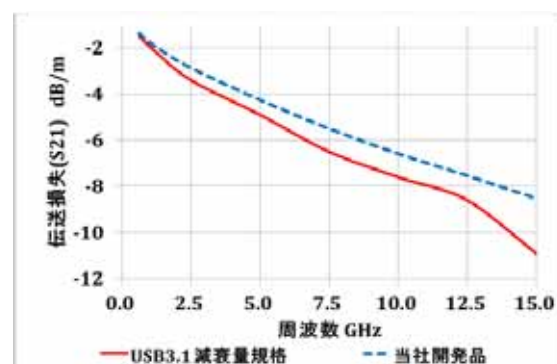


ケーブル構造(参考図)

2. USB3.1 Type C ケーブルの規格に適合

(1)10Gビット/秒のデータ転送速度 (Gen2) を確保し、全周波数帯域において減衰量の規格に適合していることから、長尺かつ大容量の映像データ等の伝送に適しています。

(2)「RUOTA」は、中空構造により全長にわたり誘電率が安定しているため伝送特性が均一になり、ケーブルを構成する複数の伝送線の伝播時間差(スキュー)を最大で6.5ps/mまで低減しました。これにより当社開発品は、伝播時間差規格(10ps/m以下)に適合し、データ伝送の安定性に優れています。



減衰量の比較

本資料についてのお問合せ先	総務・広報担当	TEL 0268 (34) 5211
お客様からの製品に関するお問合せ先	電線営業グループ	TEL 03 (5860) 2128